

鯖江市長 牧野 百男 様

令和2年3月11日



さばえ 政策提言
2020

鯖江商工会議所 青年部
(鯖江YEG)

提言に至るまで

令和元年度、鯖江 Y E G は 40 周年を機に行政との共創関係を築きながら鯖江のかがやく未来のために初の政策提言を目指して活動してまいりました。6 月、9 月の勉強会・意見交換会（風会議）の内容などを踏まえて、私たちの提言を次項より述べさせていただきます。



風会議・6月



風会議・9月

提言

鯖江市役所 と 鯖江商工会議所青年部 は
さばえのかがやく未来を創る
「共創パートナー」となる



めがねのまちさばえ

Sabae Japan Eyeglasses



YEG

提言詳細

市民主役の風土が根付く鯖江は、活発な市民活動により全国でも有数の活力あるまちとしてこれまで栄えてまいりました。しかしそのような鯖江でも、現在の日本社会が直面する東京一極集中や少子高齢化の波に対応していかなければなりません。

そのためには、市民だけでなく経済人や企業という存在の力も必要であると私たちは考えます。これからのまちの経済を回すエンジンとなる若き経営者集団である私たち鯖江商工会議所青年部は、貴市役所と共に鯖江の未来を考え、議論し、行動し、そして共に創っていくパートナーとなることを提言いたします。

その上で、貴市役所と今年度において政策勉強会および意見交換会をさせていただいた内容を踏まえて、次年度より取り組ませてもらいたい具体的な行動と、その中で共に考えていきたい具体的な議題の候補を提示させていただきます。

提言全体の構図

提言

鯖江市役所と鯖江商工会議所青年部は
さばえのかがやく未来を創る「共創パートナー」となる

行動

「未来の風会議」の実施

議題 1

「にぎわい中心地域」の
未来像と計画の検討・策定

議題 2

「子育て」と「仕事」を幸せに
両立できる環境・仕組みを整備

未来に向けた行動

鯖江市役所と鯖江 Y E G において、 継続的に「未来の風会議」を実施



市の政策を担う行政の職員と地域経済を担う若手経営者集団である鯖江 Y E G のメンバーで、政策テーマを決めて内容の勉強および意見交換をする場として「未来の風会議」を開催し、継続的な意見交換ができるようにする。これにより、経済的観点も含まれた鯖江のより良い未来につながる政策が生まれてくることが期待できる。

未来に向けた議題 1

鯖江らしい「にぎわい中心地域」の 未来像と計画の検討・策定



今後の具体方針が定まっていない西山公園・サンドーム福井・駅前～商店街などを代表とする市街地エリアについて、中長期的に市民の生活満足度が高まり、市外からの来訪者が鯖江ならではの良さを体感でき、地域内経済の好循環が生まれるような未来像と実行計画の策定を目指して、市民・企業が主導となり行政と連携して検討・策定していく方法を議論する。またそれに伴う適切な交通網の整備計画検討も議論する。

未来に向けた議題 1 – 背景・現状

< Y E Gメンバーの声 >

- 中心市街地の青写真が存在せず、活性化の一貫した取り組みが起きない
- 西山公園や響陽会館はもっと活かした方が良い
- 鯖江は夜のにぎわいが少ない、商店街あたりに片町のようなにぎわいエリアを作れないか、それがUIターン移住者にもつながりそう
- ライブ客など県外からの来訪者が楽しんでお金を落とすエリアを作れないか

未来に向けた議題 1 – 背景・現状

事実 1

中心市街地周辺の店舗や売上、人口は減少し続けている。

区分 年次 商業集積地区名	商店数			従業者数 (人)			年間販売額 (万円)			売場面積 (㎡)		
	H16	H19	H26	H16	H19	H26	H16	H19	H26	H16	H19	H26
寺町・ 公園口商店街	22	19	15	74	53	64	121,500	71,520	62,730	1,318	1,363	574
古町商店街	20	19	22	107	113	91	117,600	107,878	64,190	1,553	1,647	831
本町商店街	25	21	16	61	51	41	55,600	35,409	24,394	1,907	1,415	1,093
鯖江駅前商店街	22	19	14	89	60	55	118,500	94,216	81,950	1,800	1,477	1,364
神明駅付近	33	30	20	89	81	44	63,000	52,984	38,350	1,569	1,448	872
西鯖江駅前	16	13	11	52	44	36	51,700	82,553	26,990	592	477	244
三六町付近	30	25	24	156	122	110	205,600	168,220	200,394	2,017	1,537	1,620
柳町商店街	24	20	13	85	72	55	185,100	174,587	46,900	2,174	2,030	756

H16, H19, H26 商業統計調査 [調査期日: H16年, H19年は6月1日, H26年は7月1日] / 鯖江市独自集計
 ※上記商業集積地区は、調査区ベースでの集計のため、実際の商店街加盟店等とは異なる。(回答があった事業所のみ集計)

	単位	H21年度末	H30年度末
中心市街地周辺の人口	人	2,181	1,928

※住基人口(本町1~3丁目、旭町1~3丁目、桜町1・3丁目、深江町、日の出町、屋形町)で把握

事実 2

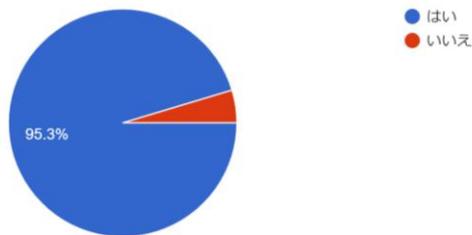
鯖江市には現在、中心市街地などにおけるまちづくり計画・マスタープランが存在せず、統一した方向性をもつ中長期的整備は進んでいない。



事実 3

鯖江 Y E G は地域経済の未来を担う 20 ~ 40 代の若手経営者 100 名以上で構成する団体であり、地域のより良い未来づくりに熱い想いをもつ。

あなたは、鯖江のまちのにぎわいづくりへの興味・意欲をもっていますか。
43 件の回答



推測 1

中心市街地の未来像と計画の策定を行政からの呼びかけ（行政主導）だけではなく鯖江 Y E G など若手地域経済団体と連携した形で議論していくことで、以下の利点が生まれる。

- 直接の利害関係者（その地域の商店や住民）からの反発が起きづらい
- より早いスピード感で未来像・計画をまとめていける
- より特色があり尖っていて、経済的な合理性・持続可能性が高い未来像・計画にしていける
- 主導者たち自身が市民・経済人なのでそのまま策定後に実際に動いていくプレイヤーになれる

未来に向けた議題 2

公民連携により鯖江全体で「子育て」と「仕事」 を幸せに両立できる環境・仕組みを整備



現在市内の中小企業は人手不足に苦しんでおり、一方で子育て世代の市民は子育てと仕事の両立に苦勞する社会環境に置かれている。鯖江には子育て支援センターなどの支援制度が存在するが、その仕組みの周知方法や制度について、行政と企業で状況共有をして現状を踏まえた制度の改善や企業と連携した対策を議論する。

未来に向けた議題 2 – 背景・現状

< Y E Gメンバーの声 >

- 子育て支援センターのシッター派遣の仕組みを知らなかった
- 企業同士および支援センターなどが連携して子供を預かる仕組みを作れば、働ける女性が増えるのではないか
- 保育所で子供が病気になると急きょ親が迎えに行かないといけませんが、代わりに迎えに行ってくれる仕組みがつかれないか

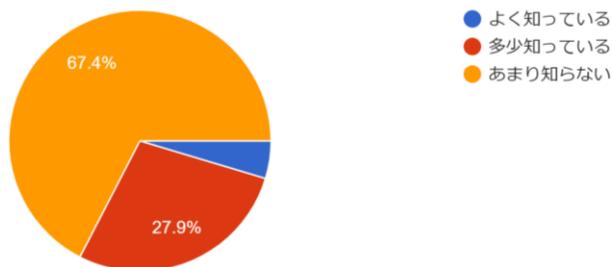
未来に向けた議題 2 – 背景・現状

事実 1

企業経営者側である鯖江 Y E G のメンバーが行政の子育て支援の制度を十分認識できていない。

あなたは、鯖江の子育て支援制度・仕組みについてよく知っていますか。

43 件の回答

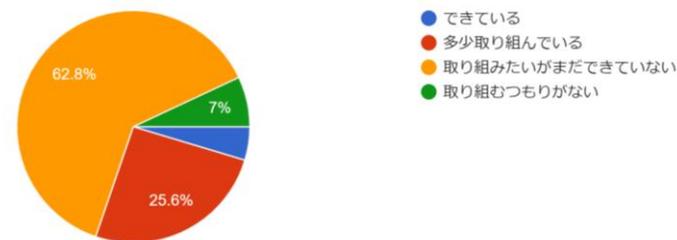


事実 2

事実 1 の結果、企業の社員たちへの十分な環境づくりが進んでいない。

あなたが経営する、または所属する企業・店舗では...極的な取り組みや制度づくりができていますか。

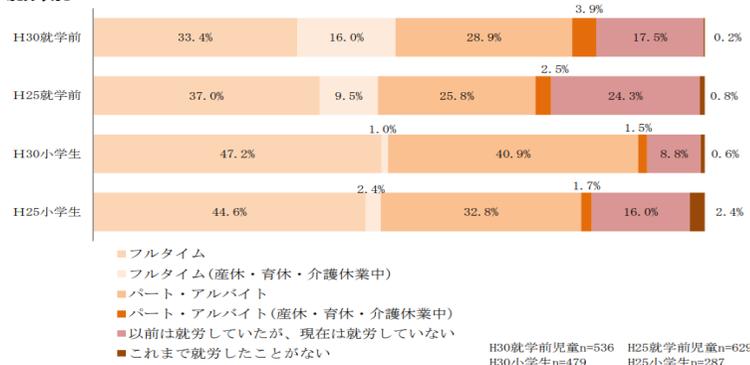
43 件の回答



事実 3

子どもをもつ母親の就労割合は 80% を超える高さであり、さらに増加している。

母親の就労状況



事実 4

鯖江 Y E G メンバーは地域の若手経営者たちであり、自身はもちろんその社員たちの多くは子育てと仕事の両立に励んでいる。また、子育てと仕事の幸せな両立には個々人が行政の制度を利用するだけでなく、個人を雇う側である企業と行政の適切な情報共有や制度的連携が必要であるが、現在はこの 2 つの主体をつなぐ連絡会議などは存在しない。



おわりに

**私たちは Y E G として、
地域を愛し、日本を愛し、
豊かで住みよい郷土づくりに貢献します。**